



聖隷クリストファー看護大学2号館2001年11月竣工(右側建物)



発行者

学校法人聖隷学園

聖隷クリストファー看護大学・大学院

聖隷学園浜松衛生短期大学

聖隷介護福祉専門学校

聖隷クリストファー高等学校

〒433-8558
浜松市三方原町3453
電話 / 053(436)5311
http://www.seirei.ac.jp

聖句

いと高きところには栄光、神にあれ、
地には平和、御心に適う人にあれ。

ルカによる福音書2章14節

社会福祉学部開設にあたって

聖隷クリストファー看護大学 学長 深瀬須加子

一年の巡りは早く、今年もクリスマスを迎える季節となりました。学生達もクリスマス礼拝と祝会の準備に入った様です。本学のクリスマスツリー(もみの木の緑に真赤な紅玉リンゴと雪の結晶を形どった繊細な飾り、銀色の細いつららに見たてたひも様の飾りをぶら下げ、ローソクを各所に留めたもので、近よるとほのかに甘い香りが漂っている)は町中のもとは大きく異なり、清楚で温もりとやすらぎを感じるものです。聖隷の精神を現しているように思います。初めて見る一年生はどんな反応を示すでしょうか、楽しみでもあります。

小さな、偉大な意思から始まった聖隷の理念を受け継いだ大学で学んだ学生達は、福祉看護の実践活動を通して、必然的にその専門のリーダーシップを発揮してくれるものと信じております。ハード面の準備として校舎の増築も同時に進行し、看護学部であった一号館の改造、改装を合わせ二号館の完成も近づいております(上図参照)。

さて、聖隷学園報「工」号にも記しましたが、一九九七年に立てられた学園第一次中期経営計画に従い、看護学部大学院設置に次ぐ二番目の計画どおり現在の介護福祉専門学校を発展的に解消し、社会福祉学部開設の運びとなりました。準備にかけた一年余を振り返りますと、大変な努力と努力が積み重ねられた結果であることをつくづく思い出されます。直接その任に当たられた職員の方々には深く敬意を表します。本年四月に文部科学省に一年有余をかけて準備作成した数多くの分厚い申請書類の提出、続いて二次申請書類を、そしてヒアリングと称する面接による質問審査と書類によるハード面の審査を、更に介護福祉育成に関する審査は厚生労働省による審査もあり、特に介護実習室の設備、指導教員のデモストレーション等の厳しい審査も無事終了し、十二月中旬に認可を受けることができました。認可後は直ちに学生募集開始です。

大学が設置された十年間は、看護学部、看護学研究科看護学専攻の大学院を持つ看護単科大学で歩んで参りましたが、来年度の社会福祉学部開設と共に、聖隷学園浜松衛生短期大学看護学科及び助産学専攻科を併せ、新たに「看護学部」「社会福祉学部」「看護短期大学部」の三学部体制の大学に拡大いたします。このことから大学の名称を学生、同窓会、教職員の意向の元に「聖隷クリストファー大学」と改正することになりました。更には、大学運営組織の改正、各種委員会諸規定等の変更及び在学部においては教育課程の一部改正等々、諸々の改正を行うため、各学部予定校からの学部長や代表委員等による検討を重ね、今日に至り、現在も継続中ですが、大方まとまって参りました。これは、在校生の教育と今新たな教育の質の充実を図りながらの各種の検討と計画であり、全教職員の絶大な協力と努力による結果として今日を迎えることができましたことを深く感謝申し上げます。大学三学部への移行準備期の二年間を振り返り「報告とさせて戴き、新たに生まれ変わる大学へのご支援もよろしくお願い申し上げます。」

聖書のことば

聖隷学園宗教授主任
聖隷クリストファー看護大学 教授
佐柳 文男

イエスキリストは平和の君として来られた。私たちは平和の君の誕生を祝う。しかし、イエスキリストが平和の君とはどういうことだろうか。宗教は平和ではなく、戦争の原因ではないのだから、世界から宗教がなくなれば、戦争もなくなるのではないか。

平和とは何なのだろう。平和を全体的に説明するのは難しい。健康とは何かを語るよりも、病気を説明する方が易しい。しかし病気を持たないことが健康ではないように、戦争のないことが平和ではない。

戦争も病気も、イエスキリストの誕生以前からあった。すべての人が健康を求めようと、すべての人が平和を求めよう。しかし人は健康を求めて、病気になるようなことをする。平和を求めて戦争を起こす。口では平和を求めると言うが、実際は何を求めているのか。

家庭でも社会でも、世界でも、強い者が力づくで反対派を沈黙させ、自分の意思を押し通し、自分の栄光を輝かせて、それを平和と呼ぶ。一般に平和と呼ばれる状況はこれである。

先ず初めに神の栄光を求めないところに、真の平和はない。

社会福祉学部概要

社会福祉学部増設準備室室長
聖隷クリストファー看護大学助教授

山本 誠



十二月の正式認可を受けて、いよいよ二〇〇二年四月より社会福祉学部が始まります。本学社会福祉学部社会福祉学科は、収容定員四〇〇名、入学生定員九五名、三年次編入学生定員十名(二〇〇三年三月から実施予定)とし、社会福祉専攻と介護福祉専攻を設け、学生はいずれかの専攻に所属します。社会福祉専攻では、聖隷の歴史を受け継ぎながら福祉の原点を学びと共に社会福祉の専門性を探求していきます。四年間の学習の中で、社会福祉士国家試験受験資格、保健福祉士国家試験受験資格、又はその両方の受験資格を取得していくことを目指します。また介護福祉専攻では、聖隷介護福祉専門学校及びその前身の福祉医療専門学校でなされてきたヘルパー教育、介護福祉士養成教育の使命を受け継ぎ、介護福祉士資格取得、社会福祉

士の国家試験受験資格を目指すことになり。またどちらの専攻においても、福祉レクリエーションワーカー及び障害者スポーツ指導者の資格取得の道が開かれています。

さて概念図にもあるように、社会福祉の学習には、マクロとミクロの視点が必要です。どちらか一方の視点があればよいというのではなく、常に双方の視点から社会福祉を捉える必要があるのです。このことを「国際⇄地域(考察の幅)」「社会⇄人間(考察の深み)」「政策・制度⇄援助・方法(考察の専門性)」として位置づけています。また、「国際⇄地域」と「社会⇄人間」の学びを通して、「文化」が育まれ、「国際⇄地域」と「政策・制度⇄援助・方法」の修得により、「連携」が強固なものになり、「社会⇄人間」と「政策・制度⇄援助・方法」から、「共生」の視点を学ぶことができるようになります。本学部での学びは

これらを統合していくことを可能としています。またこれら全ての中心にあるのが、聖隷の精神とキリスト教です。聖隷の社会福祉実践の中心には、常にキリスト教に基づいた人間理解がありました。目の前にいる「この人」と共に生きることを大切に、社会において、番房い立場にある人の支援を常に考えてきた歴史があるのです。これらは教育課程の中に授業科目として具体的に反映されており、社会福祉の学びを土台とする人材、地域と国際社会に貢献できる人材が育つていくことを期待しています。

社会福祉学部は、多くの皆さまの祈りとご支援の中で実現してきました。聖隷の歴史を振り返る場として、福祉現場で働く人には専門知識を深める場として、そしてこれからの社会福祉を担っていくことと願う人々には、良き学び舎としてご利用いただければ幸いです。

学部長予定者の紹介 遠藤久江



1938年生まれ、明治学院大学大学院社会学研究科社会福祉学専攻修士課程修了。沖縄キリスト教短期大学助教授、福島県立会津短期大学(後に会津大学短期大学部に校名変更)社会福祉科科长、教授を歴任、現在は東海大学健康科学部社会福祉学系主任教授。

聖隷クリストファー大学 社会福祉学部 2002年度入試概要

定員 社会福祉学部社会福祉学科 / 95名 専攻(社会福祉専攻[55名]、介護福祉専攻[40名])の決定は入学後に行います。

募集人員

入試種別	募集人員の内訳
併設高等学校推薦入学	5名
公募制推薦入学A	15名
公募制推薦入学B	5名
社会人入試	5名
一般入試	65名
計	95名

日程

入試種別	推薦入学関係・社会人入試	一般入試
出願期間	1月7日～1月15日必着	1月10日～1月31日必着
選抜期日	1月26日	2月9日、2月10日
合格発表	1月29日	2月18日
入学手続期間	1月30日～2月6日	2月19日～2月28日

一般入試は、試験日自由選択制です。両日に出願することもできます。

出願資格等

入試種別	出願資格	専願・併願の別	選抜方法等
公募制推薦入学A	現役 調査書の学習成績概評がB段階以上の者	専願	小論文/面接
公募制推薦入学B	現役 ボランティア参加証明書を提出できる者	専願	小論文/面接
社会人入試	高等学校卒業後2年以上経過した者(入学時)	併願可	小論文/面接
一般入試	高等学校卒業・卒業見込み 他	併願可	学科試験3教科3科目

一般入試試験科目

教科	科目	備考
国語	「国語 ・ (古文・漢文を除く)」	必須
外国語	「英語 ・ 英語 ・ リーディング」	左記の教科・科目から2教科2科目を選択(但し、地歴と公民を選択の2教科にすることはできません。)
地歴・公民	「世界史B」、「日本史B」、「現代社会」	
数学	「数学 ・ 数学A」	
理科	「生物 B」	

2003年度入学選抜から編入学生(定員10名)の受け入れを行う予定です。

詳しくは、入試・広報センター 053(436)8122 までお問合せください。

第二次十カ年経営計画(二〇〇二～二〇一一年度)について

法人事務局長 堀口路加

去る二〇〇二年十月二十二日、評議員会、理事会に先立ち十月十九日に完成引渡しを受けた大学二号館の献堂式が行われました。昨年十月二十四日の起工式以来、約十三カ月に渡った工事中、学生・教職員並びに近隣の施設の皆様のご理解とご協力をいただき無事に工事を終えたことに対し改めて感謝申し上げます。

最近の動き

完成した大学二号館は、鉄骨鉄筋コンクリート造七階建て、延べ床面積四〇七四・五五㎡、二階は四五〇席の食堂ホール、二階は聖隷集団全体の共有財産として聖隷歴史資料館を設置し聖隷草創期から昭和四十年頃までの歴史資料を中心に、聖隷事業の初期から根底に流



2号館玄関のガラスに裝飾された「キリストを背負うキリストファー」

れている理念、継承すべき精神を考えることのできる場所として整備します。既に聖隷福祉事業団、聖隷学園十字の園、小羊学園、遠州栄光教会などの各法人の理事長、関係者で聖隷歴史資料館運営委員会を発足させ検討が重ねられています。三階には介護実習室、入浴実習室、四階・五階には小教室・中教室・演習室、六階・七階には教員研究室が配置されています。今後二〇〇二年度初めまでの間に、一号館一階学生ホールが図書館として改修される他、地階ロッカー室の拡張工事、外構造園、植栽工事が予定されています。

第二次十カ年経営計画の骨子

献堂式に引き続き行われた評議員会、理事会において二〇〇二年度から二〇一一年度までの十カ年経営計画(第二次十カ年経営計画)の概要が決定されました。今後、学内外から広く意見をお聞きし、関係諸機関と詳細を詰め、二〇〇二年三月に予定されている評議員会、理事会において最終決定する考えです。

聖隷クリストファー看護大学が設置されたのが一九九二年四月。その後、一九七七年度から二〇〇六年度までの十年の間に、大学院看護学研究科修士課程(一九九八年度開設)、社会福祉学部社会福祉学科(二〇〇二年四月開設)を設置し、二〇〇六年度から二〇〇七年度に高等学校校舎全面移転することを第一次十カ年経営計画に盛り込んでいました。高等学校校舎全面移転計画は、既に第一期工事が始まり、新校舎と体育館は二〇〇三年八月には竣工の予定で、当初二〇〇六年度までかかると思われていた計画は二年半前倒しして終了することになります。

このことから高等学校校舎全面移転を機とした今後十年間を第二次十カ年経営計画としてまとめたいわけですが、前半の五年間(二〇〇六年度まで)二〇〇二年度は社会福祉学部が開設され、大学の名称が、聖隷クリストファー大学に、短期大学の名称が、聖隷クリストファー大学看護短期大学部に変わり、看護学部、社会福祉学部と一体的な組織運営体制に移行します。

一九七八(昭和五三)年に福祉医療ヘルパー学園に始まったヘルパー養成は、一九八八(昭和六三)年に開設した聖隷介護福祉専門学校に引き継がれ、さらに新たに開設する社会福祉学部部にその歴史を引き継いでいくこととなります。社会福祉学部の開設にあわせて聖隷介護福祉専門学校

は学生募集を停止し、在学生の卒業をもって二〇〇三年度末に発展的に解消します。

高等学校校舎全面移転のためのエントラフト・フトサルコートが完成すると二〇〇二年四月頃から新校舎・体育館建築工事に着手します。新校舎は地上七階建(延べ床面積八五九〇㎡)、体育館は地上二階地下一階建(四三四五㎡)の規模になる見込みです。

二〇〇三年度には短期大学の改組転換の認可申請リハビリ関係の学部増設と看護学部の定員増並びに編入学定員設定)を行い、二〇〇四年四月開設をめざします。リハビリ関係の学部増設にあたっては新たに大学に三号館を建築する予定です。並行して二〇〇四年四月開設をめざして大学院社会福祉学研究科修士課程増設の認可申請を行う考えです。二〇〇五年度には大学院博士課程構想の検討に着手するほか、総合チャペルの設計に入ります。二〇〇六年度には中高一貫教育を実施するため中学校の設置認可申請を行い、二〇〇七年四月開校をめざします。

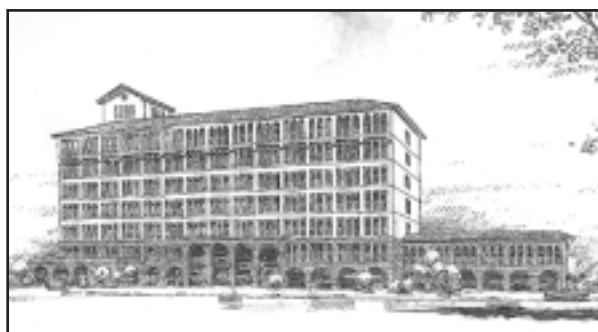
後半の五年間(二〇一一年度まで)

二〇〇七年度には聖隷クリストファー中学校を開設するほか、総合チャペルの建築工事に着手します。この年大学院博士課程の設置認可申請を行い、看護学研究科、社会福祉学研究科リハビリ関係の研究科を博士課程前期課程・後期課程に改める考えです。その後、二〇一〇年度には短期大学校舎を解体し大学に四号館を建築する

とともに総合図書館の建築を予定します。二〇一一年度には第三次十カ年経営計画をまとめ次の十年に備えます。



北面



南面

聖隷クリストファー高等学校 新校舎イメージ図(2003年8月完成予定)

2000年度決算、2001年度予算について

Table with columns for 2000年度消費収支計算書 and 2001年度消費収支計算書, categorized by 消費収入の部 and 消費支出の部.

2000年度決算

10ヵ年計画(1997～2006年度)で予定していた2002年4月の社会福祉学部増設と2003年9月の高等学校移転に向けて、2000年度は具体的な準備に着手した年となりました。

社会福祉学部増設に備えての大学全体の総事業費は1,159,527千円であり、2000年度は大学2号館建築工事代の10%と2号館新築及び1号館改修工事の設計監理料の合計金額88,420千円を支払いました。

高等学校校舎全面移転計画に際しては事業費の約2分の1にあたる額を借入金によりまかなう予定であり、その際の新たな借入金に備えて、野球場取得のための日本私立学校振興・共済事業団の借入金残高と短期大学校舎改修のための市中金融機関からの借入金残高の合計金額131,330千円を繰上げ一括返済しました。

過去5年間の満足度調査結果から特に改善要望の高かった教室・実習室の教育環境改善のために、大学の教室・実習室へのエアコン設置(15,855千円)、短期大学実習室へのエアコン設置(4,985千円)、高等学校の全教室へのエアコン設置(42,000千円)を行いました。

2001年度予算

2001年度予算では、高等学校移転用地取得費用及び工事費用の一部を予算計上、また大学2号館建築費用及び1号館改修費用、設備備品の取得費用を予算計上しています。

学生生徒等納付金は、大学・短期大学・専門学校とともに2000年度より学費を据え置いています。高等学校では、2000年度に全教室にエアコンを設置したことに伴い1人あたり維持費を年額6,000円増額しています。

人件費は、昨年の人事院勧告と最近の経済動向から給料表の見直しはせず、定期昇給分だけを見込んで予算編成をしました。教育研究経費及び管理経費には固定資産の減価償却費212,631千円が含まれており、また、今年度は社会福祉学部開設準備費用29,839千円を法人部門に計上しています。

二〇〇〇年度満足度調査結果改善への取り組み

満足度調査について

聖隷学園は、学生・生徒の考え方を把握すると共に、それらを学校経営や学校運営に積極的に反映させていくことを目的として、大学・短期大学、専門学校、高等学校の卒業学年の全学生・生徒を対象にして一九九四年度から満足度調査を毎年実施しています。

調査結果の概要

調査項目は、大学・短期大学・専門学校では、教育目的・目標、進路(就職・進学)、授業全般、教員、事務職員、校舎、図書館、体育施設、厚生施設、課外活動、下宿、交友関係、その他の学生生活の十三項目にわたります。

大学では、「大変満足している」、「やや満足している」を合わせた割合の上位三項目は、校舎六七%、事務職員五九%、教員五五%です。反対に「全く満足していない」、「あまり満足していない」を合わせた割合の上位三項目は、厚生施設四七%、課外活動三八%、下宿三三%です。

高等学校では、「大変満足している」、「やや満足している」を合わせた割合の上位三項目は、事務職員五〇%、厚生施設四八%、進路(進学・就職)三四%です。反対に「全く満足していない」、「あまり満足していない」を合わせた割合の上位三項目は、教員四二%、体育施設四〇%、授業全般三九%です。

学校経営・学校運営への反映
この調査結果は、これまで理事会や教職員がそれぞれの立場で分析し、その重要度や緊急性を判断して、教育内容の充実、施設設備の充実等に反映させています。

施設設備面では、それぞれの学校の教室・実習室へ

毎年計画的にエアコンを設置してきており、教育環境の改善に努めています。さらに、従来の学生食堂に加えて新築した大学二号館にも新たに学生食堂を設置しました。また二〇〇二年度から短期大学・専門学校の学生も大生同様利用できるようにしました。

高等学校では、進路希望の多様化、価値観の多様化に対応するために、二〇〇〇年度から新コース制度を導入しました。目的別に特別進学コース看護・福祉進学コース長期留学コース、総合コースを設け、総合コースの中には、文理進学クラス、情報クラス、総合教養クラスを設けて、生徒が目的・目標をもつて学校生活をおくれるよう配慮しました。

◆編集後記

学園報第二十四号はいかがでしたでしょうか。今回は、四月開設に向けて準備の進んでいる社会福祉学部のことを中心にして、学園の将来計画を紹介させていただきました。学園の動きを感じ取っていただければ幸いです。